



葉山町議会第 1 回定例会が開催されました。 期日平成 15 年 2 月 21 日～3 月 19 日
平成 15 年度予算成立 総額 178 億 146 万 3 千円 (前年比 プラス 3 億 516 万 5 千円)

かなざきひさが指摘し提案してきた事業 予算獲得！

- ・障害者タクシー券交付事業 対象範囲が身体障害者手帳 3 級の肢体不自由まで拡大されます。(144 万円)
- ・葉山町広報版が上山口新善光寺前に 1 基新設されます。(23 万 4 千円)
- ・「ごみの分別方法 PR 用冊子」を全戸配付。(157 万 5 千円)
- ・町立保育園での障害児との交流が行われます。(保育園管理事業 前年比 プラス 78 万 8 千円)
- ・保育園新築場所決定。障害児療育の為、福祉課と教育委員会との連携。
 <仮称>保育園・教育総合センター複合施設整備事業 (2 千万円)
- ・大道方面行き「葉山小学校前」バス停手前の歩道の湧き水、9 月に解消。
 葉山小学校施設整備事業 (6 千 496 万 6 千円) の内・グラウンド整備工事

○かなざきひさの一般質問

(1) 川をきれいにする施策について。

森戸川に比べ、下山川の水質是最悪です。合併浄化槽の併用を早急に考えないと、下山川水域の浄化は難しいと思います。

かなざきひさの質問と提案	理事者側の答弁
葉山全域を公共下水道で行え、という下水道審議会の答申について。	厳粛に受け止めているが、対応すべきかどうか一考の必要がある。(町長)
川を早急にきれいにする為には、合併浄化槽との併用を考えるべきだ。	都市計画法により市街化区域は公共下水道で行う。(町長)
新築家屋には合併浄化槽が義務づけられており、宅地開発区域には公共下水道の敷設は必要ない。	管理の問題で、公共下水道での一括処理が望ましい。(町長)
合併浄化槽を設置している家が、費用をかけてまで、公共下水道につなぐとは思えない。	単独浄化槽のメンテナンス率でも 70%であり、合併浄化槽は一時しのぎと考えて欲しい。(町長)
敷設しても、接続されなければ意味がない。	現在、接続率は 70%。助成金等で接続しやすい方策をとる。(町長)
融資斡旋方法が他市より劣っている。	保証人の関係で問題がある。研究して対応したい。(都市経済部長)
下水道事業の計画は。	300 ヶ所を下水道整備費 84 億円と地方債 45 億円で行う。その内 14 年度末で 175 ヶ所完了済。(町長)
かなざきひさの考え 財政面から考えると、市街化区域全域に公共下水道を敷設するのに何年かかるか判りません。その上、面整備をすればする程、地方債という借金を残すこととなります。返済よりも借入額の方が上回り、借金残高が 14 年度末には 109 億円、15 年度末には 110 億円となります。それ故、合併浄化槽管理条例をつくり、二重投資をやめるべきと考えます。	

(2) ごみ問題について。

町長は平成 22 年に行われる予定の 4 市 1 町の「ごみ処理広域化」を推進していますが、それまでの葉山町独自のごみ問題について、質問しました。

かなざきひさの質問と提案	理事者側の答弁
町長の理想とする、ごみ収集方法について伺う。	今の収集方法が定着しているので、しばらくは今のまま でいきたい。問題がおきれば検討する。 (町長)
大型ごみ有料化で 2 千万円の収入予定である。一般ごみ 有料化については。	税金を払っているからには、ごみの収集は無料で当然と いう考えもある。 (町長)
ごみ問題は町民の協力なくしては解決しない。協力を得 る為の方策は。	各町内会等に出向いて意見を伺う。 (町長)
葉山町に即したごみ収集方法を検討する為に 50 人～100 人規模の検討委員会を。	あらゆる機会を通じて検討したい。 (町長)
学校でのごみ教育は。	学校生活の中で、日常的に、分別が行われている。 (教育長)
大人を啓発する為に子供の力は大きい。子供がより興味 を持って家庭で話をするようなイベントを行っては。	とても良い提案。親へ影響力を与えるようにしたい。 (教育長)
かなざきひさの考え 東京都日野市では、市長が有料化と戸別収集を打ち出し、300 回以上の説明会を行い、市長選を経て、信任と 同時に有料化・戸別収集に踏み切りました。町長に理想とするごみ収集方法を聞いたのですが、現状維持ということでした。町民の 方々の協力なくしてはごみ問題は解決しないので、一人でも多くの方々の意見を聞いて、町長としての指針を打ち出して欲しいと思 います。	

(3) 一泊二日の防災訓練について。

平成 14 年 9 月議会において、小・中学校において児童生徒対象に、地震災害に備えて一泊二日の宿泊訓練をしては
どうかと提案したところ、「良い事なので学校に伝える」との教育長の答弁がありました。その後の経過を質問しま
した。

かなざきひさの質問と提案	理事者側の答弁
一泊二日の避難所体験学習について学校側に伝えたか。	11 月に校長会で伝えた。 (教育長)
その結果は。	必要な事なので、15 年度に内容を研究して実現させたい。 (教育長)
普通救命講習の実態は。	14 年度 17 団体から要請があった。 (消防長)
児童・生徒に対して、出張講習は可能か。	要請があれば可能である。 (消防長)
かなざきひさの考え 阪神淡路大震災に実際に遭遇した人の話を聞くと、震災当日の避難所は「弱肉強食」の世界そのものであった とのこと。人間というものは、極限に追い込まれると自分のことしか考えられなくなる恐れがあります。少しでもそのような事 をなくす為にも、子供の時に障害児クラスの子供達と共に、一泊二日の宿泊訓練をしておくことが、弱者に対するおもしろいと、い ざという時の心構えをつくることになると思います。	

お礼とお願い

かなざきひさを応援する会会長 伏見小枝

4 年前、なぜ議員になろうと思ったのか。それは、障害を持
つ長男がいたから。行政に障害者達の要望を訴えても、なかな
か聞き入れてもらえない。それならば、自分が、行政の中に入
るしかない。それが、かなざきひさの正直な気持だったのです。
なんだ、自分達の為に議員になりたかったのか、と、とられそ
うですが、それは単にひとつのきっかけでしかありませんでした。
町の行政の中に入って見て、「何故?」「何故?」の連続で、
かなざきひさにとっては、その多くの問題に対して「せっかく
多くの方達が議員に選んで下さったのですから、その方達の為
にも、自分がやらなければ、役に立たなければ」という気持が
強くなったのです。困っている人の為に、行政に不満を持って
いる人の為に、この 4 年間、力を注いできました。新人の強み
で、しがらみもなく、本質に向かって進むことが出来たと思
います。この 4 年間の経験を“慣れ”や“惰性”とせず、また新
たな気持で『解決』に向け働いてくれると確信しています。皆
様にとって、役に立つ議員であることはまちがいありません。
この 4 年間、かなざきひさが議員として活動できたのも、皆様
が行政に送り出して下さったからだ、と心から感謝致します。
引き続きご支援よろしくお願い致します。

「かなざきひさを応援する会」会計報告

(平成 12 年 1 月 1 日～平成 14 年 12 月 31 日)

収入		支出	
繰越金	178.918 円	会報	855.110 円
寄付	840.000 円	通信費	143.994 円
合計	1.018.918 円	合計	999.104 円

平成 15 年 繰越金 19.814 円

(寄付は全て、かなざきひさの議員報酬からのです)

発行者 かなざきひさを応援する会 会長 伏見小枝
発行所「事務局」〒240-0115 葉山町上山口 1878-9
TEL & FAX 878-7961 携帯
090-407-62425 E-Mail